

APNet ニュースレター

—Advanced Power Network—

発行
次世代電力ネットワーク研究会

 一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

<今月の注目点>

- ・海外ニュースは、「米国系統運用機関 予備力調整市場制度変更」、「バイデン政権による電力網強化のための 130 億ドルの拠出」、「米国 送電計画を監視する独立機関の設置検討」、「米国初の商用電気自動車向け V2G 電力買取制度の承認」、「米国エネルギー省による熱エネルギー貯蔵コンソーシアム立ち上げ」、「米国 モンゴメリー郡にて新築建物の熱源として天然ガスを禁止」、「米国 リチウムイオン電池のカソード材料製造方法の研究開発」、「英国 系統運用機関による新たなデマンドサイドフレキシビリティサービス」、「ノルウェーで世界最大の浮体式洋上風力発電所の送電開始」の計 9 本の記事を紹介しています。
- ・国内ニュースは、経産省「電力・ガス需給と燃料 (LNG) 調達に関する官民連絡会議」等で議論されている LNG 動向に関して概説します。

APNet 活動は令和 4 年度 APNet シンポジウム (テーマ:「転換点を迎えた電力システムの課題と展望」) のご報告です。

目 次

1	海外ニュース	- 1 -
1.1	米国 系統運用機関 PJM、予備力市場制度を大幅に変更	- 1 -
1.2	米国 バイデン政権が国内の電力網を拡大・強化するために 130 億ドルの拠出を発表	- 2 -
1.3	米国 連邦および州規制当局は、送電計画を監視する独立機関の設置を検討	- 3 -
1.4	米国 PG&E の米国初の商用電気自動車向け V2G 電力買取制度が承認される	- 4 -
1.5	米国 エネルギー省が熱エネルギー貯蔵コンソーシアムを立ち上げ	- 5 -
1.6	米国 モンゴメリー郡にて新築建物の熱源として天然ガスを禁止	- 6 -
1.7	米国 よりクリーンで効率的なリチウムイオン電池のカソード材料製造方法を発見	- 7 -
1.8	英国 系統運用機関 NGESO は今冬の需給ひっ迫対応として新たなデマンドサイドフレキシビリティサービスを開始	- 8 -
1.9	ノルウェーで世界最大の浮体式洋上風力発電所が送電開始	- 9 -
2	国内ニュース	- 10 -
2.1	エネルギー安定供給と脱炭素化の観点からの燃料調達について	- 10 -
2.2	次世代電力ネットワーク研究会 令和 4 年度シンポジウムの報告	- 13 -
3	事務局後記： 資源価格の乱高下と万が一の備え	- 15 -